

凡事徹底・活力・環境

令和 8年 1月 8日

No.10

五小だより

東大和市立第五小学校

TEL (042) 562-1981

FAX (042) 590-7022

<http://5s.hyama.andteacher.jp>

～ともに育つ～

校長 平松 新太郎

令和8年が始まりました。2学期は学校や地域の行事が続き、これまでに増して保護者・地域の皆様にお世話になりました。ありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願いたします。

今回は「ともに育つ」と題し、12月に行われた2つの活動を紹介します。

1つ目は19日（金）に行われた5年生の授業です。北九州市立星ヶ丘小学校・宮古島市立伊良部島小学校の5年生と五小の5年生がオンラインで交流授業を行いました。方言や独自の文化といった地域の特徴を伝え合う活動を通して、相手の地域や文化を理解し、自分たちの学校や地域の良さを再認識することを目的とした授業でした。五小は、五小水族館・図書室・変電所・玉川上水を紹介しました。授業の流れは3校の教員が連携して計画しましたが、当日の子供たちの発表や質疑応答で予想以上に充実した授業となりました。3校の教員とも子供たちの成長を実感できた2時間でした。

2つ目は、27日（土）に行われた青少対主催の冬休みお楽しみ会（第1部天体観測・第2部非常食体験）です。郷土博物館の方から説明を受けた後、同じく郷土博物館の方々にお持ちいただいた望遠鏡等で実際に月や星を観察しました。また、防災安全課にご協力いただき、アルファ化米を用いたカレーライスを食べる体験をしました。青少対の方々とは話し合う中で、子供たちの日々の成長を共有させていただいた冬休みでした。

「ともに育つ」とは、「子供も大人もともに育つ」という意味です。子供の育つ環境の「広がり」を視野に入れた「地域等との連携」及び子供の育つ道筋の「繋がり」を視野に入れた「校種間等との連携」は、五小が単独ではできない教育活動を可能にするものです。同時に、大人たちは、連携を通して、子供たちについての理解を深めたり、自分たちの取組と他者の取組を意識したり、相互信頼の関係を作ったりしていきます。

これらを意図した活動は、年間を通してどの学年も行います。今回、改めて感じたのは、「年間指導計画にあるから」あるいは、「毎年やっているから」という動機ではなく、「子供たちのために、まず、何かをやってみよう」という地域・保護者および五小の前向きな姿勢です。

3学期も、「子供たちのためにできることはなんでもやろう」という思いを大切に取組んでいきます。どうぞよろしくお願いたします。